松本市の 生物多様性を 守るため

特定外来生物の駆除に ご協力ください!

特定外来生物とは?

外来生物のうち、「外来生物法(特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する 法律)」により、自然環境や人の生命・身体、農作物などに被害を与える、または被害を与え る恐れのある生きものとして指定された生きもののことです。

特定外来生物は、飼育、栽培、生きたままでの運搬・保管などが原則禁止されています。

特定外来生物に指定されている外来生物は、松本市でも増えてきており、繁殖力が強いため、 このまま放っておくと

他の生物が育つのをさまたげたり、農作物に被害を与えたりする 可能性があります。

松本市では、特に4つの植物の駆除をお願いしています。

アレチウリ



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ



オオカワヂシャ



駆除の基本

☑ 種をつける前に駆除する

多年草(宿根草)は根からの抜き取りが効果的です。 種を付けた後の駆除は、種を飛散させてしまうため逆効果です。

☑ 繰り返し駆除する

根から掘り取った場合でも、地中に埋まっている埋土種子が数年にわたり発芽したり、残っ た根から再生することがあります。発芽が見られなくなるまで繰り返し駆除する必要があり ます。

☑ 駆除した後は密封し、もえるごみへ

特定外来生物は生きたままの運搬が禁止されています。ごみ袋等に密封し、枯れさせてか ら「燃えるごみ」へ出してください。

アレチウリ

成長速度の速いつる性の一年草。農地や河川敷などの湿り気の多い場所に生育し、 長いつるで周りの植物に覆いかぶさり枯らしてしまいます。



7月 8月 9月 5月 6月 10月 12月 3月 4月 11月

駆除の最 適時期

図除の効果 適期は 6,7月)

- 駆除のポイント!
- 抜き取りしなくても、生育中に複数回刈取り を行うと結実しないため、駆除効果がある
- ・遅くとも結実前に駆除する
- ・駆除時に結実している場合は、種は袋に入れ(破れないよう注意して)地域のゴミ収集に出す、駆除作業時 の服や靴に付着した種子を広げないように注意する
- ・埋土種子がなくなるまで、3年以上継続する

発芽

開花

結実後は種子飛散防止に注意す 飛散防止が困難な場合駆除







この状態の時期(5~6月)の抜き取り が最も効率的です。

きゅうりに似た葉がつきます。よ く似ているクズには巻きヒゲがな いので、区別できます。

実にはとげがあり触ると危険です。 繁殖域を拡大させないためにもこ の状態になる前に駆除しましょう。

オオキンケイギク

道端、道路脇、河川敷などに生育する<u>多年草</u>。成長が早い上に繋殖力が 強く、密に生えるため、在来植物の生息環境を奪ってしまいます。



駆除に

時期

駆除のポイント

10⊨

適した

・根からの抜き取りが効果的

・刈取りの場合は、結実させないよう複数回の実施必要

開花

結実後は種子飛散防止に注意す 飛散防止が困難な場合駆除



越冬時の ロゼット状の姿



生育初期の葉は 細長いへら状

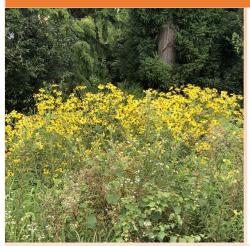


生長が進むにつれて3-5枚の小葉 に分裂し、両面に粗い毛があります



直径5cm~7cmの花をつけます。

水路や河川沿いに生育することが多い<u>多年草</u>。冷涼な環境や水辺の オオハンゴンソウ 湿った環境を好むため、湧水地や高原などに侵入しています。



8月 9月 10月 11月 3月

駆除のポイント

- ・根からの抜き取りであればいつでも効果あり (2.4g以上の根の小片からでも再生するため、で きるだけ根を残さないように留意)
- ・刈取りの場合は、結実させないよう複数回の 実施必要

開花

結実後は種子飛散防止に注意す る。飛散防止が困難な場合駆除 は控える



深く切れ目が入った特徴的な葉を つけます。



種による発芽のほか、地下茎から も増殖します。高さ3mに達するも のもあります。



直径6cmから10cmの花をつけま す。中心部分が盛り上がった独特の 形をしています。

3月

オオカワヂシャ

水路、河川などの水の流れの緩やかな場所に生育する多年草。在来種のカワ ヂシャと雑種を作ったり、競合したりして減少させています。

9月



駆除に 適した 時期

6月

5月

開花

4月

結実

駆除に 適した 時期

7月

開花

結実

8月

10月

11月

12月

を川に流さないように注意する

・根からの抜き取りが効果的

駆除のポイント!

・植物体の破片からも再生するため、破片

結実後は種子飛散防止に注意す る。飛散防止が困難な場合駆除 は控える



冬から早春の姿。冬場は水位が低く、 効率的に作業ができますが、冬場の オオカワヂシャとカワヂシャ(準絶滅 危惧種)は区別がつきにくいため、 判別できない場合は無理な駆除は 控えましょう



縁に細かなギザギザがある光沢あ る葉をつけます。葉は茎にぴったり とつきます。



直径5mm前後の花を多数つけます。 花は青紫色で4枚の花弁がありま す。(在来種のカワヂシャは白い花 を付けます)

法規制が適用されないもの

特定外来生物は生きたままの運搬・保管が<u>原則禁止</u>されていますが、規制が適用される特定の器官が含まれない場合は、通常の植物と同様に運搬等の処理ができます。

例 (種子がついていない場合に限ります)

- ・切り花状態のオオキンケイギク、オオハンゴンソウ、オオカワヂシャ
- ・根から抜き取ったアレチウリ

【運搬の可否】

種名	形態	種子等	根	茎
アレチウリ	一年草	×	0	0
オオキンケイギク	多年草	×	×	0
オオハンゴンソウ	多年草	×	×	0
オオカワヂシャ	多年草	×	×	0

一定の条件を満たしたグループ等による駆除作業も法規制の適用外です。 詳しくは環境・地域エネルギー課までお問い合わせください。

Q&A よくあるお問合せ

Q 絶対に根から抜き取らなければいけない?

A 基本的には可能な限り抜き取ってください。

多年草(宿根草)の場合、根からの抜き取りが効果的です。やむを得ず地上部を刈り取る場合でも株が弱るので拡大防止に一定の効果はありますが、何度も根から再生するため、抜き取りに比べ根絶には時間を要します。一年草のアレチウリは残った根からは再生しないので、複数回の刈り取りで効果があります。

Q 除草剤は使ってはいけない?

A 環境保全の観点からなるべく使用しないようお願いします。

周辺の他の植物を枯らしてしまったり、薬剤が飛散して悪影響を及ぼす恐れがあります。 やむを得ず使用する場合は、水路・河川への流出、住宅・田畑への飛散に十分な配慮をした上 で、目的とする植物以外に薬剤がかからないよう注意して使用してください。

Q 特定外来植物かわからない

A 環境・地域エネルギー課へお問い合わせください。

写真があると見分けやすくなります。なお、特定外来生物は生きたままの運搬が法律で禁止されていますので、実物の持参はご遠慮ください。

松本市環境エネルギー部環境・地域エネルギー課

TEL:0263-34-3268 FAX:0263-34-3202

E-mail:s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp

監修:長野県環境保全研究所